高次視覚における統合実験環境と  
シミュレーション・モデルの構築に関する研究

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 横澤 一彦1 | 東京大学大学院人文社会系研究科 |  |
| 熊田 孝恒 | 独立行政法人産業技術総合研究所 人間福祉医工学研究部門 |  |
| 齋木 潤 | 京都大学大学院情報学研究科 |  |
| 河原 純一郎 | 広島大学大学院教育学研究科 |  |

This is a template to be used to prepare a suitably formatted submission for the Journal, “*Attention and Cognition*”. It contains instructions, style definitions, and illustrations of the use of those styles. It also includes the section headings that we suggest. This is the text of the abstract. It has the style A&CAbstract.

Keywords: high level vision, attention, visual cognition, simulation models, research database.

問題・目的

このテンプレートは，次のスタイルで構成されています。これらをもとに原稿を作成して下さい。This template includes the following styles, which should be used where possible.

A&CTitle

A&CAuthor

A&CAffiliation

A&CAbstract

A&CKeywords

A&CBodyText

A&CBodyTextContinue

A&CHeading1

A&CHeading2

A&CHeading3

A&CFigure

A&CFootnoteNumber1

A&CReference

A&CCaption

A&CTable

A&CTableCaption

A&CEquation

A&CBlockText

A&CHeader

A&CAbstract

A&CList

A&CNumberedList

原稿を新たに作成する

“Attention and Cognition”用に原稿を作成するためには，次の手順をとって下さい。

1. MS Wordでテンプレートを開く。
2. 新しい名前でファイルを保存する。
3. 適切なセクションに内容を書き込み，上述のスタイルを適用する。利用できるテンプレートがツールバーに表示されます。

テンプレートの利用方法

Wordのホームタブの「スタイル」機能を用いることでこのテンプレートのスタイルを適用することができます。見出しにはスタイルA&CHeading1, A&CHeading2, A&CHeading3を使います。テキスト本文はA&CbodyTextを使います。

1ページ目のヘッダの20xxと2ページ目のヘッダの著者名は適当に修正して下さい。No.xはそのままで結構です。注意と認知研究会担当者が投稿されてから割り振ります。

本テンプレートの書式は日本心理学会の「執筆・投稿の手びき (2022年度版)」およびAPA Publication Manual (7th ed.) に準拠していますが，マニュアルが更新された際は最新版を参照してください。また，最近の「注意と認知」研究会の研究資料の原稿も参考にしてください。

数式

数式表示

数式表現をするときは，数式エディタかMathTypeを使います。挿入(I)メニューからオブジェクト(O)…を選び，オブジェクトの種類(O)の中のMicrosoft数式を使います。そのパラグラフにはスタイルA&Cequationを適用します。

 (1)

数式後のパラグラフはスタイルA&CbodyTextContinueを使います。

文中の数式

文中の数式は，例えば *L*(*x,y,t*) = **w***T***I**(*x,y,t*)のように, どこでも読むことができるシンボルフォントを使って下さい。それらが使えない場合は，数式エディタかMathTypeを使って下さい。

結果

図は「挿入」タブから貼り付けて下さい。図の例はFigure 1とFigure 2を参照。

グラフ, 折れ線グラフ

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。Figure   
*An example figure (the style “A&CCaption” applied)*

Figure   
*An example of block text*

#include <stdio.h>

プログラムコードを記述するときはスタイルA&CblockText を使って下さい。このとき，キャプションもつけて下さい。

考察

表を貼り付けるときは，表の挿入(I)コマンドを使って下さい。表にはスタイルA&CtableCaptionTables を適用したキャプションをつけて下さい。Microsoft Word2000以降はこのコマンドは別のところにあるかもしれません。

Table 1  
*An example table (the style “A&CTableCaption” applied)*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| SOA (ms) | Trial type | Detection  Error (%) | Identification  Error (%) |
| 0 | Valid | 26.2 | 32.6 |
| 0 | Invalid | 19.3 | 32.3 |
| 100 | Valid | 30.1 | 22.0 |
| 100 | Invalid | 33.2 | 44.8 |
| 200 | Valid | 19.9 | 11.8 |
| 200 | Invalid | 16.4 | 14.7 |

結論

まとめ。

Appendix

補足が必要ならばここに書く。

脚注

1これは脚注の例です。

引用文献

Kumada, T., & Humphreys, G. W. (2001). Lexical recovery from extinction: Interactions between visual form and stored knowledge modulate visual selection. *Cognitive Neuropsychology*, *18*(5), 465–478. https://doi.org/10.1080/02643290042000224

菅沼 睦・横澤 一彦・佐藤 隆夫 (2001). 3次元的曲線追跡に関する検討 心理学研究, *72*(5), 387-396. https://doi.org/10.4992/jjpsy.72.387